

《担当者名》明野 伸次 [akeno@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

看護における看護技術の位置づけ、看護技術の特性、その変遷および課題を理解し、対象者の生活を支える看護技術について考察する。また、Evidenceに基づいた看護技術を検証および開発するための必要な知識を理解し、看護技術の教育方法ならびに看護技術の開発について考察する。

【学修目標】

1. 看護における看護技術の位置づけを考察できる。
2. 看護技術の特性、その変遷および課題を考察できる。
3. 看護技術におけるEvidenceの検証について説明できる。
4. 看護技術の教育方法について考察できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 } 3	看護における看護技術の位置づけ	・ The Art of Nursingと看護技術 ・ 看護実践の構造における看護技術の位置づけ	明野
4 } 7	看護技術の特性	・ 看護技術の定義および目的 ・ 看護技術の歴史的変遷と課題 ・ 看護技術の特性：目的性、個別性、身体性、順序性	明野
7 } 9	看護技術における教育	・ 看護技術教育の特性 ・ 看護技術の教育方法 ・ 看護基礎教育と看護継続教育	明野
10 } 12	看護技術とEvidence Based Nursing	・ Evidence Based Nursingの歴史的背景と必要性 ・ 看護技術の理論知と実践知	明野
13 } 15	看護技術におけるEvidenceの検証方法	・ Evidenceの定義と必要性 ・ 臨床研究の方法 実験研究を基盤とした有効性・有用性の検証方法 介入・侵襲の考え方 生理学的測定法、統計的手法、倫理	明野

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション(50%)、討議への参加(50%)を総合評価する。

【教科書】

特に指定しない。適宜資料を配布する。

【参考書】

参考文献は随時提示する。

【学修の準備】

指定された事前学習および課題に取り組み、授業に臨む。